

2019年2月21日

株式会社 リクルートキャリア

「地元には東京にない魅力と可能性がある。でも…」 Uターンに4割が意欲も、二の足を踏む理由は？

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小林 大三）の研究機関・就職みらい研究所（所長：増本 全）は、学生調査モニターの大学生を対象に、「就職プロセス調査」を実施いたしました。本リリースでは、2018年12月1日時点で民間企業への就職が確定している大学生に「地元で働くことについての考え」と「地元で働くことについて不安はあるか」を尋ねた結果を分析し、まとめました。

6割が抱く「不安」の正体を知り、払しょくの先手を

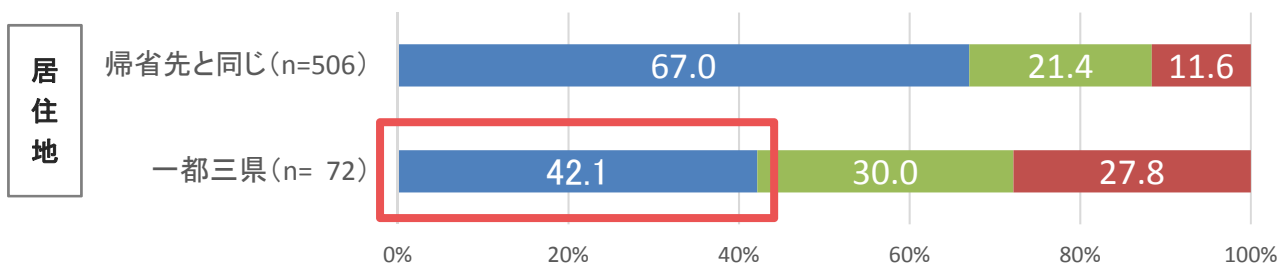
「学生はUターン就活には興味がないわけではなく、不安が大きい」。調査から、地元を離れて一都三県に居住する学生の4割以上が、地元での就職に前向きだとわかりました。しかし厳しい現実も明るみに。前述の地元を離れて一都三県に居住する学生の6割近くが、地元に戻ることを不安に感じて居るのです。Uターン促進のカギは「待遇がよくない」や「志望業種がなさそう」など不安の正体を知り、先回りして払しょくすることにあるそうです。今回は学生が地元で働くことについての本音を、数字とコメントから探ります。



就職みらい研究所
所長 増本 全

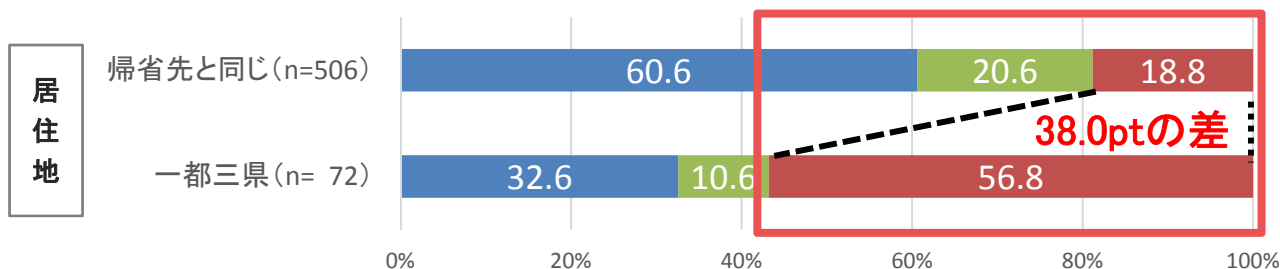
地元で働きたいか ※帰省先が一都三県以外の学生が対象

■「働きたい」計 ■「どちらともいえない」 ■「働きたくない」計



地元で働くことに不安はあるか ※帰省先が一都三県以外の学生が対象

■「不安ない」計 ■「どちらともいえない」 ■「不安ある」計



【本件に関するお問い合わせ先】

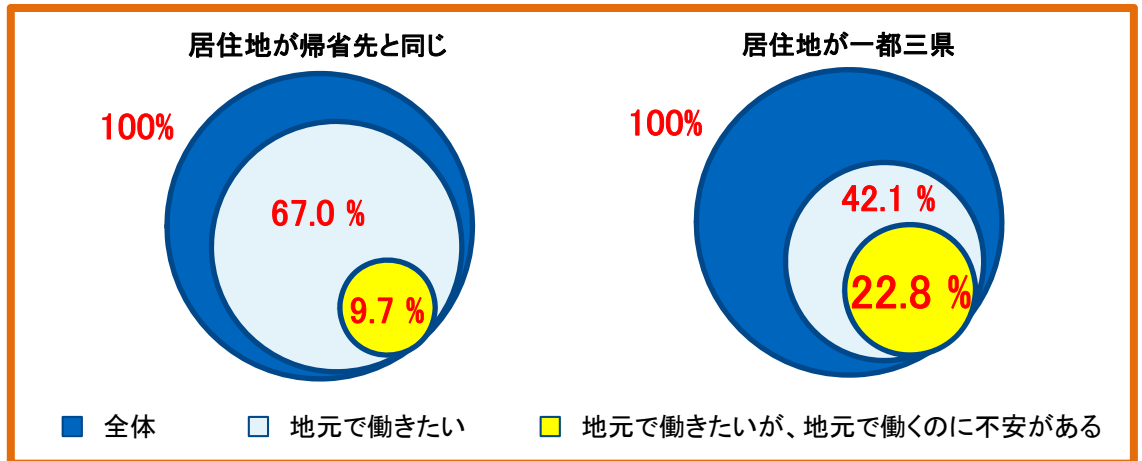
株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
TEL : 03-3211-7117 MAIL : kouho@waku-2.com

本当に地元企業に志望業種はないのか？

同じ「一都三県以外の出身」かつ「地元で働きたい」学生の中で、現在一都三県に住んでいる学生が不安を感じる割合は、地元に残っている学生より多い。

コメントを見ると学生は「慣れ親しんだ土地で働くことに魅力を感じる」のに、「待遇面がいい企業ばかりでない」と地元を敬遠し、「家族や友人がいて安心」なのに「志望業種がない」とあきらめています。本当にそうなのでしょうか？企業は給与を増やすことは難しくとも、生活スタイルや福利厚生から待遇について説得できるでしょうし、本当は存在するのに学生がまだ気付いていない地元の魅力もあるでしょう。こうした不安要素から先回りして学生とコミュニケーションすることが重要です。

帰省先が一都三県以外の学生の地元志向とその不安の割合

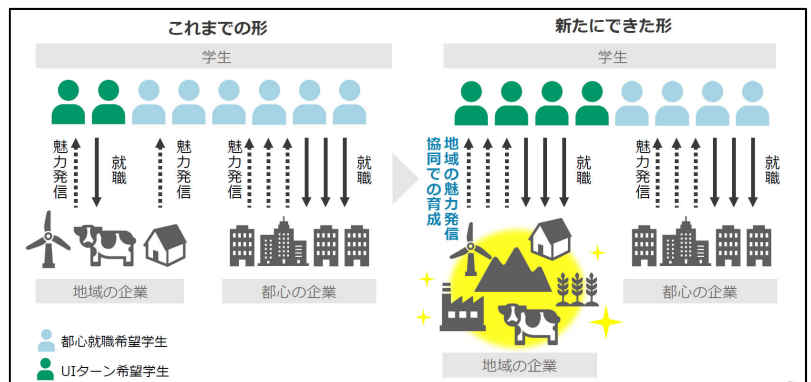


学生のコメント 「地方で働きたい理由」と「地方で働くことへの不安」とは？

居住地	帰省先	性別	地方で働きたい理由	地方で働くことに不安を感じる理由
東京都	秋田県	男性	地方出身なので。東京にいる必要性をそれほど感じないから	職が少なく、人も少ないから
神奈川県	茨城県	男性	慣れ親しんだ土地で働くことに憧れがあるから	待遇面がいい企業ばかりではないから
東京都	福岡県	男性	東京とは違う魅力があり、課題も多いが可能性も十分あるから	経済、ビジネス面で不便な点があることは確かだから
東京都	長崎県	女性	地方でしかできない仕事があるだろうから	生活の利便性の面で不安があるから
埼玉県	愛知県	女性	新天地で何もかも0からスタートさせることに楽しみがあるから	頼れる人が少ないから
埼玉県	山形県	女性	家族や友人がいることで安心できる	志望業種がないから

参考：人手不足の解消めざし、地方企業がタッグ 地域への就職を促す「就域」

1社単体でなく、地域内の企業が一丸となり、その地域への就職を促す取り組みが「就域」です。企業は自社でなく地域としての採用成功を目指すため、学生の適性を判断して他社を勧めることもあります。また、企業の枠を超えた合同研修などで育成もします。地元で働きたい学生の不安を払しょくする動きの1つで、自治体も後押ししています。



詳細はコチラ：<https://www.recruitcareer.co.jp/news/pressrelease/2018/181217-02/>

Uターンを志向する学生の特徴とは？

2018年に、就職みらい研究所から「働きたい組織の特徴（2019年）」という調査を出しました。その中で「地元志向者」と「Uターン志向者」の就職観の違いがわかりましたので、補足します。



就職みらい研究所
所長 増本 全

◆地元志向者：給与や待遇のよさはそれほど求めないが、給与の変化がなく安定的に収入が得られることを望む傾向があります。

◆Uターン志向者：地元志向者と比べ若干大企業や安定を志向しており、ただ給与や待遇は特別多くなくてもよいとする傾向が見てとれます。また、これまでの経験を活かしたいという意向が強いのも特徴です。

2018年8月15日 就職みらい研究所「働きたい組織の特徴（2019卒）」のP18から引用

<https://www.recruitcareer.co.jp/news/20180815.pdf>

	A	B	①地元志向者 n=312		②Uターン志向者 n=96	
			A・計	B・計	A・計	B・計
1	歴史や伝統がある企業である	若く新しい企業である	73.4 0.3	26.6 (▲0.3)	75.0 1.9	25.0 (▲1.9)
2	安定し、確実な事業成長を目指している	リスクをとり、チャレンジングな事業成長を目指している	91.7 10.5	8.3 (▲10.5)	92.7 11.5	7.3 (▲11.5)
3	企業固有の技術や商品、ブランド、ノウハウなどが強みとなっている	個々の人材のもつ専門性が強みとなっている	71.5 1.8	28.5 (▲1.8)	71.9 2.2	28.1 (▲2.2)
4	経営者主導で事業運営が行われている	現場の社員主導で事業運営が行われている	29.2 (▲3.8)	70.8 3.8	37.5 4.5	62.5 (▲4.5)
5	給与は高いが、個人間で待遇に大きく差がついたり、降格になったりする可能性は大きい	給与は低い、個人間で待遇に大きく差がついたり、降格になったりする可能性は小さい	33.3 (▲14.5)	66.7 14.5	36.5 (▲11.3)	63.5 11.3
6	評価の良し悪しによって給与が大きく変化する	評価の良し悪しによって給与があまり変化せず、安定的な収入が得られる	23.7 (▲15.9)	76.3 15.9	30.2 (▲9.4)	69.8 9.4
7	個人の生活をサポートする制度（休暇制度や各種手当など）はないが、給与は高い	個人の生活をサポートする制度（休暇制度や各種手当など）を充実させる代わりに、給与は低い	19.9 (▲9.2)	80.1 9.2	21.9 (▲7.2)	78.1 7.2
8	入社直後の給与は低い、長く働き続けることで後々高い給与をもらえるようになる	入社直後から高めの給与をもらえるが、長く勤め続けてもあまり給与が増えない	83.0 5.6	17.0 (▲5.6)	82.3 4.8	17.7 (▲4.8)
9	自分のキャリアステップは自分で考え、実現に取り組むことが求められる	異動や配置を通じ、会社が個人のキャリアステップを考えてくれる	56.1 (▲3.0)	43.9 3.0	59.4 0.2	40.6 (▲0.2)
10	これまでの経験（学業など）を活かして成長できる	これまでの経験（学業など）とは無関係に、ゼロから学べる	52.6 (▲1.6)	47.4 1.6	74.0 19.8	26.0 (▲19.8)
11	どこの会社に行ってもある程度通用するような汎用的な能力が身につく	その会社に属してこそ役に立つ、企業独自の特殊な能力が身につく	78.8 6.5	21.2 (▲6.5)	77.1 4.8	22.9 (▲4.8)
12	短期で成長できるが、体力的・精神的なストレスもかかる	短期での成長はしにくい、体力的・精神的なストレスがかからない	18.3 (▲13.9)	81.7 13.9	25.0 (▲7.2)	75.0 7.2
13	周囲に優秀な人材が多く、刺激を受けられる	周囲と比べ、自分が主役として活躍できる	75.0 0.1	25.0 (▲0.1)	77.1 2.2	22.9 (▲2.2)
14	幅広く多様な人と、人間関係を築ける	特定の信頼できる人と、深い人間関係を築ける	59.6 (▲8.2)	40.4 8.2	59.4 (▲8.5)	40.6 8.5
15	個人の裁量権は小さいが、ステータス感のある企業（組織）で働ける	あまり知られていない企業（組織）だが、主役感のある仕事ができる	63.1 4.7	36.9 (▲4.7)	58.3 (▲0.1)	41.7 0.1
16	多くの人を巻き込んで行う仕事の割合が多い	一人で完結する仕事の割合が多い	59.3 (▲10.0)	40.7 10.0	74.0 4.6	26.0 (▲4.6)
17	特定の地域で働く	全国や世界など、幅広い地域で働く	82.4 20.6	17.6 (▲20.6)	84.4 22.7	15.6 (▲22.7)
18	仕事と私生活のバランスを自分でコントロールできる	仕事と私生活は区別なく、一体として働ける	88.5 4.6	11.5 (▲4.6)	88.5 4.7	11.5 (▲4.7)
19	ウェットな人間関係で、プライベートも仲が良い	ドライな人間関係で、プライベートでは関わりがない	74.4 2.1	25.6 (▲2.1)	78.1 5.8	21.9 (▲5.8)
20	コミュニケーションが密で、一体感を求められる	コミュニケーションは希薄で、個人の自由に任せる	77.2 (▲0.9)	22.8 0.9	81.3 3.1	18.8 (▲3.1)

①「地元志向者」

（出身地および大学所在地が同じ県で、その同じ県の就職を志望）

②「Uターン志向者」

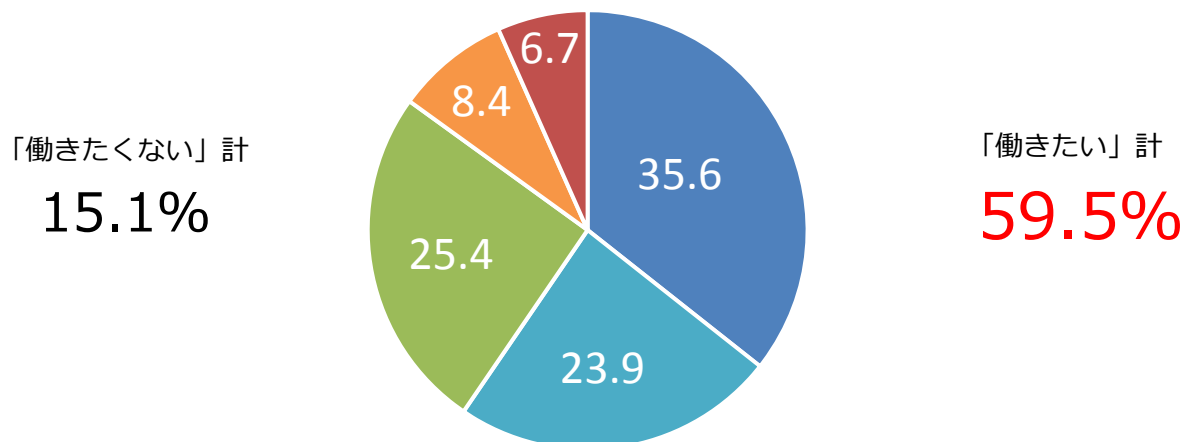
（地方出身者のうち大学所在地が大都市圏で、出身地と同じ県で就職を志望）

白字 A・計の選択率を志望地域志向間で比較したときに選択率が最も高いもの
黒字 B・計の選択率を志望地域志向間で比較したときに選択率が最も高いもの

6割の学生が地元で働きたいと回答し、半数以上の学生が不安はないとしている。

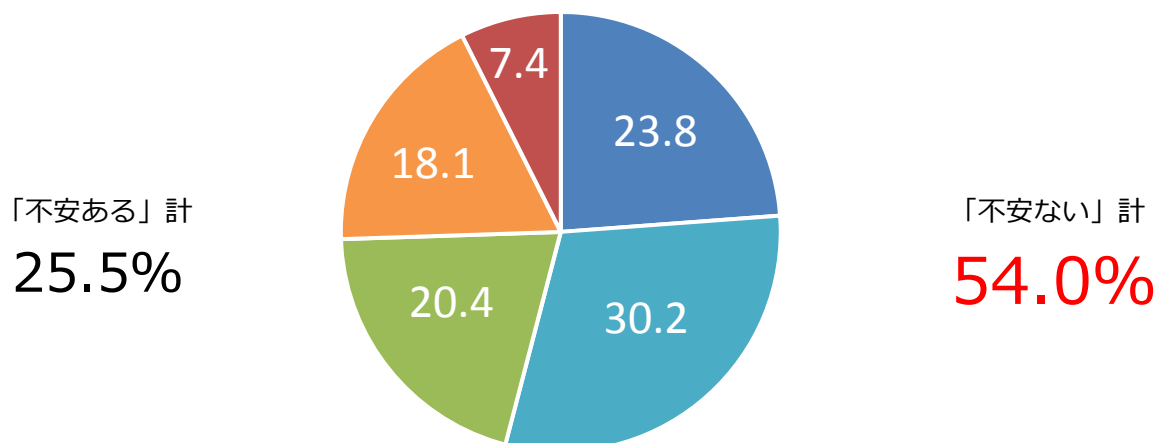
地元で働きたいか (n = 1123)

■ 働きたい ■ どちらかという働きたい ■ どちらともいえない ■ どちらかという働きたくない ■ 働きたくない



地元で働くことに不安はあるか (n = 1123)

■ 全くない ■ あまりない ■ どちらともいえない ■ 多少ある ■ ある



調査概要

調査目的：大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する

調査方法：インターネット調査

集計方法：大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体をもとに、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、**ウェイトバック集計**を行っている
※各グラフ・表に示されているn数は、ウェイトバック補正後の数値となる

【2019年卒：2018年12月1日時点】

調査対象：2019年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2019』（※）にて2017年11月24日～12月8日、2018年1月16日～3月31日、5月18日～6月14日に調査モニターを募集し、モニターに登録した学生5,185人
(内訳：大学生4,052人/大学院生1,133人)

調査期間：2018年12月3日～12月10日

集計対象：大学生 1,243人/大学院生 550人のうち、本分析ではこれまでに就職活動をした大学生1,123人が対象

※リクナビ：株式会社リクルートキャリアが運営している、就職活動を支援するサイト <https://job.rikunabi.com/2019/>

地元で働きたいか×地元で働くことに不安はあるか

区分	地元での就職意向	n	地元で働くことでの不安				
			ある	多少ある	どちらともいえない	あまりない	全くない
全体	全体	1,123	7.4	18.1	20.4	30.2	23.8
	働きたい	400	2.5	14.3	13.0	33.8	36.3
	どちらかという働きたい	269	2.8	20.7	13.1	44.8	18.5
	どちらともいえない	286	2.4	17.5	44.3	20.5	15.3
	どちらかという働きたくない	94	16.3	37.8	11.2	23.6	11.1
	働きたくない	75	58.1	6.7	6.5	4.4	24.3
帰省先が一都三県で、 居住地も一都三県	全体	338	5.8	15.0	21.8	29.5	27.9
	働きたい	105	4.5	10.5	14.0	29.6	41.5
	どちらかという働きたい	91	0.6	17.2	11.8	43.9	26.5
	どちらともいえない	94	0.4	14.9	44.8	20.7	19.2
	どちらかという働きたくない	26	14.5	36.4	16.2	27.7	5.2
	働きたくない	21	47.2	2.5	9.2	8.0	33.1
帰省先が一都三県で、 居住地が一都三県外	全体	20	-	19.6	27.3	34.8	18.3
	働きたい	5	-	23.6	-	28.0	48.4
	どちらかという働きたい	0	-	-	-	-	-
	どちらともいえない	12	-	19.2	44.4	26.7	9.8
	どちらかという働きたくない	2	-	15.6	-	84.4	-
	働きたくない	0	-	-	-	-	-
帰省先が一都三県外で、 居住地が一都三県	全体	72	24.0	32.8	10.6	22.8	9.8
	働きたい	20	18.5	23.5	6.9	31.0	20.1
	どちらかという働きたい	10	36.1	42.1	5.1	13.4	3.4
	どちらともいえない	22	4.8	23.5	24.2	36.8	10.7
	どちらかという働きたくない	12	30.8	57.4	4.4	4.4	2.9
	働きたくない	8	62.9	33.0	-	4.2	-
帰省先が一都三県外で、 居住地が帰省先と同じ	全体	506	4.5	14.3	20.6	32.8	27.8
	働きたい	224	0.2	11.8	13.3	36.2	38.5
	どちらかという働きたい	116	1.4	18.0	14.7	49.2	16.7
	どちらともいえない	108	3.4	13.9	47.6	18.1	16.9
	どちらかという働きたくない	33	9.9	27.2	11.2	25.2	26.5
	働きたくない	26	53.6	3.4	9.0	1.4	32.7
帰省先が一都三県外で、 居住地も一都三県外 ※居住地が帰省先と同じ人を除く	全体	187	12.7	28.3	20.6	27.0	11.4
	働きたい	46	3.0	29.8	13.7	33.4	20.2
	どちらかという働きたい	51	3.3	29.2	13.7	42.2	11.6
	どちらともいえない	49	3.5	27.2	45.7	16.9	6.7
	どちらかという働きたくない	21	22.3	47.7	9.8	20.3	-
	働きたくない	19	74.0	4.5	2.9	4.5	14.1